

バードウォッチング「鳥見にチャレンジ」

バードウォッチング？ スズメとハトとカラスしか知らない～！！

みんなはじめはそうなんです。三瓶青少年交流の家の周辺で見られる鳥はスズメじゃない鳥ばかり。出会った鳥をひとつずつ、じっくり観察してみればいろいろな野鳥と出会えます。バードウォッチングのはじめの一歩にチャレンジしてみましょう。



活動のねらい・期待される効果

スズメ以外の鳥を見分けることができるようになることで、身近に多くの野鳥がいることに気付けるようになる。ひいては家や学校など日常生活のまわりにある多くの自然を「発見できる目」を養うことができる。

一斉実施可能人数	20名	活動季節・条件	通年
所要時間	3時間	実施場所	周辺
主な対象	小学校～		
指導について	・基本的に自主活動ですが、双眼鏡の使い方については職員が団体指導者に解説します。 ・コース等については職員が相談に応じます。		

活動の概略

- ◎はじめてコース・・・初めて双眼鏡を使う人向き。建物周辺は視界が開けていて鳥を見つけやすい。
- ◎お試しコース・・・スズメの違いが判る人向き。サイクリングコース沿いの林で鳥を見つけてみよう。
- ◎調べるコース・・・声で居場所が判る人向き。所の裏に広がる森を散策しながら、鳥の声を聞こう。
- ◎待つわコース・・・北の原自然林などに足を伸ばし、めずらしい鳥との出会いを期待しよう。

準備物

交流の家が貸し出しできる用具・材料

双眼鏡(ニコンSPORTSTAR 8×25(8倍) *小型で小学生でも持ちやすい)
単眼鏡(ニコンED50 13-30×50 *小型で軽く持ちやすい)
緊急連絡用無線機、携帯用救急カバン、観察マップ

利用者または団体で準備する用具・材料

野外を歩ける服装、くつ、雨具、水筒など

売店または食堂で購入しなければならない物

特にありません。

売店で購入できる物

・簡易レインウェア

当日の動き

- ①打合せ コース、借用物品などの相談をします。
- ②用具の受け取り 団体指導者は、双眼鏡の使い方について、レクチャーを受けます。(使える人は不要)
事前指導 各自、必要な品物をそろえます
- ③活動(展開) 多くの鳥と出会うためには、五感を働かせて生き物の気配を感じましょう。
- ④用具の片づけ 借用物品を事務室へ返却してください。

安全対策・環境への留意点

- ・森の中は、野鳥の生活空間です。「大自然の中に入れてもらう」という気持ちを忘れずに活動してください。
- ・森の中には、人間にとって危険な動植物があります。(スズメバチ・ツタウルシ・マムシ・ぶよ等々)できる限り長袖長ズボンでの活動をお勧めします。
- ・また、鳥の巣や落ちている野鳥のヒナを見つけたら、親鳥の子育てのじゃまになりますので、できるだけ素早く静かにその場を離れてください。
- ・季節によっては熱中症に気をつける必要があります。

備考

【事前学習・事後学習・発展】

- ・地元の自然(町や平野部)と三瓶の自然(山)の比較学習ができます。
- ・近隣の三瓶自然館サヒメルで学芸員による野鳥観察指導が受けられます。
- ・事前学習として野鳥の見分け方を学んだり、事後学習として見た鳥を詳しく調べたり、サヒメル館内での野鳥観察コーナーでよりじっくり観察することが出来ます。(入館料が必要です。指導料無料)